

## 向こう岸へ渡ろう

ルカの福音書8:22-25  
2011、11、27 HKJCF

## I 概観

序)信仰の訓練①イエス様のみ言を聴き、  
②イエス様を見つめる③旅(危機)を通し、  
信仰を用いる(イエス様と出会う)

- 1、向こう岸へ渡ろう 22
- 2、ガリラヤ湖の嵐 23-4
- 3、この方は誰だろう 25

VI適用:危機が改革や祝福となったことを  
証しましょう、現代社会でも有効です

## II 向こう岸へ渡ろう

- 1、イエス様のビジョン(人類の救済計画)
  - 2、イエス様のチャレンジ(快適圏からビジョンへの出発)
  - 3、イエス様の方法(暴風雨:危機)
- ⇒ビジョンがなければ得意の場(快適圏)  
にとどまり、危機も前進もない

## IIIガリラヤ湖の突風

- 1、突風(危機・改革:改革的信仰の必要)
  - 2、弟子の恐れ・怒り・叫び(依存・被害者意識:危機←コントロール不能)
  - 3、イエス様の解決(プロセス・介入・改革)
- ⇒危機を通し、信仰の改革(だれが真のリーダーであるか)を体験する  
⇒危機がなければ改革は起こらない

## IVこの方は誰だろう

- 1、自然への権威(神のみ言の力)
- 2、神の子の平安と信頼(常識を超えた)
- 3、イエス様は誰だろう?⇒信仰の改革:  
危機を通して、主と出会い、深い信頼に生きる(真のリーダー、真の解決策)⇒個人にも教会にも有効(宗教改革:個人・技術・組織)⇒現代社会は? 参 詩107:23-32

## V 結論)危機を祝福に変える信仰

- 弟子の訓練:危機→祝福(召命:5章、復活:24、再召命:ヨハネ24、パウロ:使27)
- 1、ビジョン(全人類の救済計画)
  - 2、チャレンジ(快適圏からの出発)
  - 3、危機(船と自己のコントロール不能)
  - 4、改革:出会い(自己、主)⇒主客逆転⇒救い(改革:真のリーダーの出現が中心)
  - 5、祝福(ビジョンの実現)←改革的信仰